

2021年度 三重大学人文学部法律経済学科

## 3年次編入（一般「学力」・社会人）試験

### 「論述試験」注意事項

1. 課題図書：後藤健太『アジア経済とは何か 一躍進のダイナミズムと日本の活路』（中公新書、2019年）は、試験会場に持ち込んで参照することを認めます。
2. 試験時間は1時間30分です。
3. 配付物は以下の通りです。
  - (1) 「論述試験」注意事項（この用紙）
  - (2) 問題用紙 1 枚
  - (3) 解答用紙 5 枚
  - (4) 下書き用紙 3 枚
4. すべての解答用紙には、受験番号欄が付されています。  
下書きには、受験番号欄のない下書き用紙を使用してください。
5. 解答用紙の指定された欄には、必ず受験番号のみを記入してください。  
(氏名は記入しないでください)
6. 問題用紙、下書き用紙は持ち帰っても構いません。

## 問題用紙

課題図書：後藤健太『アジア経済とは何か 一躍進のダイナミズムと日本の活路』、中公新書、2019年

問題1：以下の文章が著者の主張として正しいかどうかを判定し、正しければ解答欄に○をつけ、正しくなければ誤っている箇所の下線を引き、解答欄にどこが誤っているかを簡潔に説明しなさい。

- ① アグロメレーションとは、特定の工程や機能が地理的に集積することによって、集合的効率性を発揮することであり、従来の途上国でアグロメレーションが進むことにより、その国のあらゆる地域が全体として豊かになる。
- ② 中所得国の罫とは、途上国が中所得国まで成長できても、その後も高所得国になるのが難しいという状況のことであり、中所得国の企業が商品の企画開発や製造工程の統括などのより付加価値の高い生産工程を担えていないことに一因がある。
- ③ グローバル・バリューチェーンを主導する企業がアジアの途上国の地場企業を自らの生産・流通ネットワークに組み込む場合、海外移転（オフショアリング）か外注化（アウトソーシング）のいずれかの戦略が必要となる。
- ④ いわゆる専業主婦は、168ページの図表5-1の項目でいえば、ハウスホールド（家計）・セクターに分類される。

問題2：次に示す用語について、本書に見られる意味を簡潔に説明しなさい。

- 1) 「デジュール型経済統合」と「デファクト型経済統合」の違い
- 2) 条件付き収束 (conditional convergence)

問題3：「インフォーマル経済」とは何か、また、著者は「インフォーマル経済」についてどのような評価を行っているか300字程度で説明しなさい。

問題4：21世紀のアジア諸国において経済が急速に発展してきた要因についての著者の見解を、「FDI」、「グローバル・バリューチェーン」、「フラグメンテーション」、「モジュラー」の4つの言葉を用いて、600字程度でまとめなさい。